

青年一両親関係

—心理的離乳 その4—

大 西 誠 一 郎
久 世 敏 雄

I 問 題

われわれは、青年一両親関係—心理的離乳（その1・2）—において、「父や母に相談しないで自分で決定するようになる過程」や、青年が両親に対して、いかなる感情的、情緒的な態度をとるかを明らかにした⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾

これらの研究から、われわれは、さらに、心理的離乳の意味を検討することが必要となつた。その矛一は、青年期の基本的な対人交渉の相手としては、父、母、友達、教師の四者が考えられるが、青年たちが、これらの人々を相談相手として、どのように感じ、みているか、さらに、これらの人々との情緒的なつながりは、親密であるか、疎遠であるかを明らかにすることであつた。

さらに、矛二の問題は、すでに指摘したことであるがいわゆる「心理的離乳」と地域、生活環境等の関連の問題である。すなわち、自主的な判断—父や母に相談しないで自分自身で物事を決定するようになる過程—とか、相談相手としての父、母、友達、教師とか、父、母、友達、教師との情緒的な関係は、青年の生活する地域とか生活環境と関係があるのではないか、ということが考えられる。これらの点に関しては、すでに予備的な検討がなされている。⁽⁴⁾⁽⁵⁾

それゆえ、ここでは、矛一の問題点を明らかにすることが直接の目標となる。すなわち、青年たちの交渉相手としての父、母、友達、教師の意味を明らかにすることである。これらを明らかにする場合、対人関係の基本的な在り方を分析することによつて、一例えば、Schutz.

W. C. ⁽⁶⁾ 西平直喜氏⁽⁷⁾⁽⁸⁾ など—その意味を明らかにすることも可能である。しかし、そうしたある立場にとらわれることなく、一般的な意味を検討しておくことも必要である。そうした意味では、すでに述べたような父、母、友達、教師の意味を明らかにするいき方もある。すなわち、相談相手として、この四者が青年たちに如何にみられ、感じられているか、さらに、感情的、情緒的な親近、疎遠関係がどおなつているかを明らかにしておくことも必要である。したがつて、対人的態度の分析に先だつて予備的な意味においても、これらの問題にふれる必要がある。

本研究は、上述の如き観点から

1. 相談者としての父、母、友達、教師
2. 父、母、友達、教師との情緒的な関係の二点を検討することを目標としている。⁽⁹⁾

II 方 法

以上の点を明らかにするため、質問紙によつて調査した。ここでは、使用した質問紙すべては提示せず、主として、相談者としての父、母、友達、教師に関係する質問のみを提示する。（調査PCR—IV〔1〕、〔2〕、〔3〕、〔4〕、〔5〕）

調査の対象は、名古屋市内の中学校、高等学校、大学校ともに二校ずつであり、中学1年から大学2年まで、合計1207名である。いずれも、全一地域の生徒を対象にしている。有効調査人員の内訳は、表1の通りである。

- (1) 依田新、久世敏雄 青年一両親関係—心理的離乳その1—名古屋大学教育学部紀要才3巻 1957
- (2) 依田新、久世敏雄 青年一両親関係—心理的離乳その2—名古屋大学教育学部紀要才4巻 1958
- (3) 依田新編 家族の心理 培風館 1958
- (4) 大西誠一郎、久世敏雄 青年一両親関係—心理的離乳その3—名古屋大学教育学部紀要才5巻 1959
- (5) 続有恒、久世敏雄、秦安雄 青年期の生活意識について 名古屋大学教育学部紀要才5巻 1959

- (6) Schutz, W. C. FIRO A Three-Dimensional Theory of Interpersonal Behavior 1958
- (7) 西平直喜 青年心理学における対人関係の分析 教育心理学研究 1巻1号 1953
- (8) 西平直喜「青年一両親関係」の心理学的研究—IV基本的対人態度の形成と両親の影響— 山梨大学学芸学部研究報告才5号
- (9) ただし、この論文は1、相談者としての父、母、友達、教師に関する部分の報告である

表 1 有効調査人員

学 校	中 学			高 校			大 学	
	1	2	3	I	II	III	1	2
学 年								
性 別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
人 数	73 82	81 72	82 78	85 77	79 76	63 98	64 90	31 76

調査期日は、昭和33年5月上旬から下旬にかけておこなった。

質問紙は次の通りである。

調査 PCR—IV

名古屋大学教育心理学教室

あなたはお父さんやお母さんにいろいろ相談したいことがあるでしょう。同じように、友達や先生にも話を聞いてもらいたいことがあるでしょう。これからいくつかの質問をしますから、あなたの感じているありのままを答えて下さい。

_____ 学校 _____ 学年 _____ 組
 氏名 _____ 満 才 男 女 父ありなし 母ありなし

[1] あなたは毎日生活していて困つたなど思う事柄があるでしょう。そうでなくても気にかかる問題があるでしょう。

(A) あなたが現在最も困っている問題は何ですか。具体的にのべて下さい。

(B) 今のべた困つた問題についてですが、下のうちからあてはまるものに一つだけ○印をつけて下さい。

- 1) その問題について いつも気にしている
- 2) その問題について ときどき思い出し心配する
- 3) その問題について あまり気にしない

[2] あなたはいろいろ困つたなど思う問題があるでしょう。あるいは気にしていることがあるでしょう。そうした場合にその困つた問題をお父さんとかお母さんとかあるいは友達とか先生に相談できますか。

(A)、(B)、(C)、(D)の最も適当なところにそれぞれ一つだけ○印をつけて下さい。現在お父さんのいない人は(A)、お母さんのいない人は(B)をそのままにしておいて下さい

(A) 1) 父にはすべてのことが相談できる
 2) 事柄によつては、父に相談できる
 3) 父には全然相談できない

(B) 1) 母にはすべてのことが相談できる
 2) 事柄によつては母に相談できる
 3) 母には全然相談できない

(C) 1) すべてのことを相談できる友達(親友)がいる

- 2) 事柄によつては相談できる友達がいる
- 3) 相談できる友達は一人もいない

(D) 1) すべてのことを相談できる先生がいる

- 2) 事柄によつては相談できる先生がいる
- 3) 相談できる先生は一人もいない

[3] あなたは現在父母友達や先生に相談するとすればつぎにあげた12の事柄(項目)のうちどの事柄について最も相談したいと思いますか。父、母、友達、先生の各々について、12の事柄のうち、一つだけ選んで○印をつけて下さい。

事柄	近所の人の口がうるさくて困る	家庭が不和なので困る	クラブ活動の問題	クラス(ホームルーム)がつまらない	うまく友達つきあいができない	異性の友達との交際	試験が気にかかる	効率的な勉強の仕方	人生とは何であるかわからない	世の中に矛盾が多くて困る	結婚の問題	進学就職の問題
父に相談したいこと												
母に相談したいこと												
友達に相談したいこと												
先生に相談したいこと												

[4] 次の事柄(項目)について、困つた問題が生じた場合まず誰と相談したいですか、もつとも相談したい人を次のうちから一人だけ選び○印をつけて下さい。

(A) 自分の将来についてどうしたらよいのか迷っているとき(父、母、友達、先生)

(B) 生活の暮し方とか人生とは何かというような問題でなやんでいるとき(父、母、友達、先生)

(C) 勉強の仕方、方法がよくわからなくて困っているとき(父、母、友達、先生)

(D) 友人との交際がうまくできなくて困っているとき(父、母、友達、先生)

(E) 家庭のことでいろいろなやんでいるとき(父、母、友達、先生)

(F) 学校での生活がたのしくないとき (父、母、友達、先生)

[5] あなたは現在は相談することがなくても、将来、これだけは父や母や友達や先生に相談したり、はなしたいということがあるでしょう。父、母、友達、先生の各々についてつぎのうちから一つだけ選んで () のところに書いて下さい。同じ事柄を何度選んでもかまいません。相談することのない人は「なし」と書いて下さい。その他を選ぶ人は何であるかをはつきりさせて下さい。

- (A) 進学、就職の問題について
- (B) 生活設計など自分の将来について
- (C) 恋愛、結婚について
- (D) 人生観、生活態度について
- (E) 社会の慣習、風俗について
- (F) 家庭のなやみについて
- (G) 政治上の問題について
- (H) 友人との交際について
- (I) 学校生活について
- (J) その他

父 () _____
 母 () _____
 友達 () _____
 先生 () _____

III 結 果

相談者としての父、母、友達、教師

1) 現実の相談相手

質問〔3〕においては、現実には、父、母、友達、先生に相談する事柄は、進学、就職のこと、結婚のこと、世の中の矛盾、人生上のこと、効果的な勉強の仕方、試験のこと、異性の友達との交際のこと、友達づきあいのこと、ホームルームのこと、クラブ活動のこと、家庭のこと、近所の人のことのうち、どの事柄がもつとも多く選ばれるかを検討している。したがって、ここでは、質問〔1〕において、「困つた問題」があり、しかも、質問〔2〕において、「相談相手のいる」被験者の結果のみを整理している。一もちろん、両親健在のものばかりである一

表2の1は、相談者別に、学年別、性別の頻度を百分率で示した表であり、表2の2は、学年別、性別に百分率を検定した結果⁽¹⁰⁾であり、表2の3⁽¹¹⁾は、学年別、性別に百分率の差を検定した結果である。

- (10) 実測の百分率と理論頻度の百分率との差の検定である。表3の2 表4も全様である
- (11) ただし、表2の2において、各事柄の中、有意な差のみられたものについてである

表2の1 各事柄と相談者 (%)

相談者	学校	事柄		進学就職の問題	結婚の問題	世の中の矛盾	人生とは何か	効果的な勉強の仕方	試験が気になる	異性の友達との交際	うまいがでできない友達づきあい	クラスがつまらぬ	クラブ活動	家庭の不和	近所の人との口が
		1	男女	40 44	52.5 63.6	2.5 2.3	7.5 4.5	2.3	12.5 11.4	10.0 2.3		4.5	2.5 2.3	2.3	2.5
父	中学	2	男女	29 36	72.4 77.8	3.4	3.4 2.8	6.9 11.1	3.4 5.6	3.4 2.8					6.9
		3	男女	53 55	83.0 65.4	1.9 5.5	1.9 12.7	5.7 5.5		3.8 5.5	1.9			3.6	1.9
		I	男女	48 45	64.6 71.1	2.2	2.1 8.9	10.4 8.9	8.3 2.2		2.2	2.1	2.1	2.1 2.2	4.2
	高校	II	男女	61 50	77.0 68.0	2.0	3.3 20.0	3.3 4.0	3.3 2.0	1.6			8.2 2.0	3.3	2.0
		III	男女	40 55	85.0 90.9		2.5 3.6	2.5 1.8		2.5	1.8		5.0	2.5	1.8
	大学	1	男女	23 52	91.3 61.5	4.3 3.8	21.2	5.8	1.9		3.8			4.3	1.9
2		男女	19 49	89.5 69.4	6.1	10.2	5.3 10.2			2.0			5.3	2.0	

母	中学	1	男女	44 56	34.1 21.4	6.8 10.7	4.5 5.4	6.8 8.9	13.6 5.4	13.6 14.3	3.6	2.3 5.4	3.6	4.5 5.4	4.5 7.1	9.1 8.9	
		2	男女	43 50	37.2 26.0	11.6 14.0	2.3 2.0	7.0 16.0	11.6 4.0	9.3 6.0	4.7 4.0	2.3 2.0			4.7 12.0	9.3 14.0	
		3	男女	62 72	48.4 55.6	2.8	8.1 1.4	4.8 6.9	6.5 2.8	9.7 11.1	1.6 4.2	8.1 4.2	1.4	1.4	9.7 5.6	3.2 2.8	
	高校	A	男女	57 61	38.6 36.1	5.3 8.2	8.8 11.4	3.5 1.6	1.8 1.6	15.8 11.4	3.5 6.6	5.3 8.2	5.3 1.6	8.8 6.6	4.9	3.5 1.6	
		II	男女	63 66	47.6 36.4	1.6 12.1	9.5 9.1	1.6 6.1	3.2 1.5	7.9 7.6	7.9 13.6	6.3 4.5		3.2 1.5	7.9 3.0	3.2 4.5	
		III	男女	48 80	45.8 47.5	14.0 13.8	6.2 10.0	4.2 3.8		6.2 5.0	10.4 10.0	4.2 1.3	2.1 1.3	2.1	3.8	4.2 3.8	
	大学	1	男女	24 71	50.0 19.7	8.3 33.8	16.7 7.0	4.2	1.4		4.2 9.9	4.2 7.0	4.2	2.8	2.8	12.5 11.3	
		2	男女	18 54	16.7 25.7	33.3 50.0	5.6	1.9			16.7 5.6	1.9			22.2	11.1 9.3	
	友	中学	1	男女	48 50	4.2 2.0		2.1 4.0	4.2 2.0	8.3 12.0	33.3 24.0	12.5 2.0	12.5 8.0	2.1 10.0	20.8 32.0	2.0	2.0
			2	男女	39 48	10.3 2.1	5.1		2.6 2.1	17.9 8.3	25.6 27.1	2.6 14.6	5.1 6.2	10.4	28.2 29.2		2.6
3			男女	59 66	6.8 6.1		1.7	3.4 3.0	25.4 33.3	23.7 19.7	10.2 10.6	5.1 9.1	3.4 6.1	17.0 10.6	1.5	3.4	
高校		I	男女	53 59	7.5 1.7		3.8 3.4	5.1	32.1 27.1	18.9 17.0	13.2 5.1	7.5 17.0		17.0 18.6	1.7	3.4	
		II	男女	64 65	1.6 1.5		3.1 3.1	7.8 10.8	31.3 30.8	15.6 13.8	9.4 6.2	6.3 9.2	7.8 6.2	17.2 18.5			
		III	男女	52 82	3.8 4.9		5.8 1.2	1.9 7.3	25.0 25.6	9.6 12.2	19.2 19.5	5.8 7.3	5.8 6.1	21.2 15.9	1.9		
大学		1	男女	36 72	8.3 1.4	1.4	13.9 5.6	19.4 12.5	16.7 18.1		5.6 36.1	5.6	11.1 4.2	25.0 5.6	1.4	1.4	
		2	男女	25 56	8.0	4.0 1.8	24.0 8.9	16.0 7.0	1.8	3.6	20.0 46.4	12.0 5.4	4.0 1.8	12.0 19.6	1.8	1.8	
先		中学	1	男女	43 46	18.6 23.9		2.3	2.3 8.7	55.8 47.8	7.0 6.5			4.7 4.3	7.0 2.2	2.3 6.5	
			2	男女	26 32	23.1 6.3			3.8	34.6 71.9	7.7	7.7	3.8	11.5	7.7 21.9		
	3		男女	61 50	34.4 30.0			1.6	44.3 50.0	4.9 4.0	2.0	4.9 4.0	1.6 2.0	3.3 4.0	3.3 4.0	1.6	
	高校	I	男女	45 45	24.4 15.6		4.4	4.4 4.4	53.3 60.0	6.7 2.2	2.2	2.2		4.4 11.1	2.2 2.2		
		II	男女	49 44	34.7 36.4		2.0	4.1 9.1	46.9 40.9	2.0 2.3	4.1		2.0 2.3	2.0 4.5	2.0 2.3	2.3	
		III	男女	38 49	44.7 36.7		4.1	5.3 4.1	31.6 44.9	5.3	5.3 4.1	2.6 4.1	2.6	2.6 2.0			
	大学	1	男女	23 52	56.5 30.8		8.7 9.6	4.3 21.2	8.7 26.9	8.7 1.9	1.9	8.7	1.9	5.8	4.3		
		2	男女	15 42	53.3 38.1		6.7 23.8	33.3 11.9	6.7 11.9	4.8			4.8	4.8			

表2の2 各事柄と相談者(1) (各事柄についての学年別、性別の検定)

		進学就職の問題	結婚の問題	世の中の矛盾	人生とは何か	効果的 勉強的な 仕方	試験が 気になる	交際 異性の 友達との	あいが できな い うまく 友達づ き	クラス がつま らぬ	クラブ 活動	家庭の 不和	うるさ い 近所 の人の 口が
中学	1	男女 父 母 父 母				先生 先生	友達 (友達)				友達		
	2	男女 父 母 父 母				先生 先生	(友達) (友達)				(友達) 友達		
	3	男女 父 母 父 母				(友達) 先生 友達	先生 先生						
高校	I	男女 父 母 父 母	(先生)			友達 (友達)	先生 先生						
	II	男女 父 母 父 母	先生 先生			友達 友達	先生 先生						
	III	男女 父 母 父 母	先生 先生			(友達) (友達)	先生 先生						
大学	1	男女 父 母 父 母	先生 先生	母		先生		友達					
	2	男女 父 母 父 母	先生 先生	母				友達					

(1) 表中父、母、友達、先生は1%水準で、(母)(友達)(先生)は5%水準で有意な差のみられたものである。以下表3の2表4に関しても同様である。

表2の3 各事柄と相談者(1)(2) (学年別、性別の%の差の検定)

		中 学		高 校			大 学	
		2	3	I	II	III	1	2
中学	1	男女	○○		○	○○	○○	○○
	2	男女						
	3	男女			○		○○	
高校	I	男女				○	○○	○
	II	男女				○		
	III	男女					★★	★★
大学	1	男女						

(1) 父の「進学、就職の問題」についての検定結果である
 (2) 表中○、○○は高学年が低学年よりもそれぞれ5%、1%水準で多いことを示す。
 また★、★★は高学年が低学年よりもそれぞれ5%、1%水準で少いことを示す。
 以下○、○○、★、★★印に関しては同様である。

表2の3 各事柄と相談者(1) (学年別、性別の%の差の検定)

		中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学	
		2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	1	2
中 学	1	男女		○○		○○								○○	○○
	2	男女		○○		○								○	○○
	3	男女			○	○	★★	★★				○○		○○	○○
高 校	I	男女					★							○○	○○
	II	男女					★	★★				○		○○	○○
	III	男女					★★	★						○○	○○
大 学	1	男女					★★							○	

(1) 母の場合の左側から "進学就職の問題" "結婚の問題" についての検定結果である

表2の3 各事柄と相談者(1) (学年別、性別の%の差の検定)

		中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学	
		2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	1	2
中 学	1	男女	○	○	○	○							★	★★	★★
	2	男女		○		○								★★	★★
	3	男女	○○		○	○								★★	★★
高 校	I	男女					★★	★★						★	★
	II	男女					★★	★★						★	★
	III	男女					★★	★★							
大 学	1	男女					★	★★							
中 学	1	男女				○	○○	○○		★				★★	
	2	男女					○	○○		★				★★	
	3	男女					○○	○○							
高 校	I	男女					○○	○○							
	II	男女					○○	○○							
	III	男女						○○							
大 学	1	男女													

(1) 友達の場合の、上左側から順次 "効果的な勉強の仕方" "試験が気になる"
下左側から順次 "異性の友達との交際" "クラブ活動" についての検定結果である

表2の3 各事柄と相談者(1) (学年別、性別の%の差の検定)

		中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学		
		2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	1	2	
中 学	1	男女			○	○	○	○	★	○			★	★★	★★	★★
	2	男女		○		○	○	○		★	★★	★★	★★	★	★★	★★
	3	男女					○	○					★	★★	★★	★★
高 校	I	男女			○	○	○	○						★★	★★	★★
	II	男女					○	○						★★	★★	★★
	III	男女												★	★	★★
大 学	1	男女														

(1) 先生の場合の 左側から「進学就職の問題」「効果的な勉強の仕方」についての検定結果である。

表2の1、表2の2、表2の3から

- A) 父は、各学年ともに、「進学就職の問題」の相談相手として選ばれる場合が、圧倒的に多い。
- B) 母もまた、「進学、就職の問題」で、相談相手として選ばれる場合がかなり多い。しかし、父とくらべると、母は、相談事項に関して、全般的に相談相手として選ばれる傾向がある。さらに、大学生、とくに女子においては、「結婚の問題」を相談するものが多いとなっている。
- C) 問〔5〕の「将来これだけは相談したい」という相談相手は、「効果的な勉強の仕方」、「試験が気になる」、「クラブ活動」など、比較的、学校関係に関した問題で選ばれる傾向があるが、「異性の友達との交際」、「世の中の矛盾」、「人生とは何か」などの問題も、高学年になるにしたがって、相談される傾向があり、母と全様に、相談事項は全般的といえよう。
- D) 教師は「進学、就職の問題」、「効果的な勉強の仕方」に集中して選ばれている。これらも、ある意味では学校関係の問題ということができるわけであり、教師は、学校生活に関連した問題、事柄で選ばれる場合が多い。
- E) 年令的にみると、大学生になるにしたがって、母は「進学、就職の問題」から「結婚の問題」の相談相手として選ばれる場合が多い。友達も、大学生になるにしたがって、「効果的な勉強の仕方」「試験が気になる」などから「異性の友達との交際」などの問題で相談相手として選ばれる場合が多くなり、教師は、「効果

的な勉強の仕方」から「進学、就職の問題」で選ばれる場合が多くなっている。このようにみれば、年令的にみれば、大学生においては、相談相手に関して中学生、高校生とは異った意味をもつようである。

2) 仮定の相談相手

質問〔4〕では、「自分の将来」、「生活の暮し方」、「勉強の仕方」、「友人との交際」、「家庭の問題」学校での生活」のおのおのについて、困った問題が生じた場合、まず、誰と相談したいと思うかについて調査している。これも、質問〔3〕と全じように、両親が健在であり、さらに、「相談できる人」がいるもののみについて、結果の整理をおこなっている。

表3の1は、学年別、性別の頻数を百分率で示した表であり、表3の2は、学年別、性別の百分率の検定をした表であり、表3の3は、学年別、性別に、百分率の差を検定した結果である。

表3の1、表3の2、表3の3から

- A) 「自分の将来」に関する問題では、男子は父を、女子は母を相談相手として選ぶ場合が多い。こうした問題では、友達や教師にくらべ、両親の選ばれる場合が圧倒的に多い。
- B) 「勉強の仕方、方法」がわからない場合は、教師を相談相手として選ぶ場合もつとも多く、つぎに友達を選ぶ場合が多い。相談相手の選択に関して、「自分の将来」についての場合とは、対照的な反応がみられる。

表3の1 各事柄と相談者(1)

(%)

事柄	相談者	学校						学年									
		中 学			高 校			大 学			大 学						
		1		2		3		I		II		III		1		2	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
自分の将来	父	66.1★★	58.4★★	45.5			50.0	56.4★	40.7			46.2	50.0				
		37.7	30.6	29.0			38.5	33.8	34.9			28.6	34.4				
	母	21.4★★	33.8★★	40.9★			24.3★	15.4★★	25.9			9.6★★	★★				
		53.6	66.1	62.9			41.5	47.1	41.9			46.8	50.0				
生活の暮し方	友達	1.8	4.6				6.8	5.1	14.8			9.6	12.5				
		2.9		3.2			6.2	5.9	12.8			13.0	6.3				
	先生	10.7	3.1	13.6			18.9	23.1	18.5			34.6★★	37.5★★				
		5.8	3.2	4.8			13.8	13.2	10.5			11.7	9.4				
勉強の仕方	父	36.4	34.9	28.4			30.1	22.4	13.0			11.8	4.2				
		29.2	21.7	19.4			21.5	13.2	12.9			7.9	20.6				
	母	38.2	44.4★★	41.8			26.0	26.3	27.8			9.8★★	12.5				
		50.8	68.3	50.0			35.4	32.4	29.4			38.2	22.2				
友人との交際	友達	9.1	12.7	11.9			24.7	32.9	37.0			35.3	41.7				
		9.2	6.7	19.4			20.0	36.8	42.3			31.6	31.7				
	先生	16.4	7.9	17.9			19.2	18.4	22.2			43.1★	41.7				
		10.8	3.3	11.3			23.1	17.7	15.3			22.4	25.4				
家庭のこと	父	12.5	11.1	6.0			4.1	2.6				10.3	3.7				
		8.7	11.3	3.2			3.0	1.5				6.3					
	母	5.4	4.8	3.0			2.7	1.3	1.9			1.3	1.6				
		11.6	8.1	8.1			3.0	2.9									
学校の生活	友達	30.4★★	23.8	35.8			39.2	34.2	54.7			48.0	40.7				
		11.6	11.3	32.3			30.3	33.8	48.8			44.9	42.8				
	先生	51.8	60.3	55.2			54.0	61.9	43.4			52.0	55.6				
		68.1	69.4	56.5			63.6	61.8	51.2			43.6	49.2				
友人との交際	父	16.1	10.8				2.8	5.3	1.9				3.7				
		2.9	6.7					1.5	3.8				3.2				
	母	32.1★★	44.6	31.4★			40.3	22.7★★	22.2★			2.3★★	22.2★				
		61.8	48.3	51.6			54.5	48.5	42.5			40.5	44.4				
家庭のこと	友達	21.4	24.6	53.7			43.1	46.7	53.7			46.5	51.9				
		19.1	28.3	37.1			36.4	34.8	40.0			47.3	42.8				
	先生	30.4	20.0	14.9			13.9	25.3	22.2			51.2★★	22.2				
		16.2	16.7	11.3			9.1	15.2	13.8			12.2	9.5				
学校の生活	父	25.0	21.9	7.6			11.1★	6.4	7.7			8.5	11.5				
		18.2	17.0	4.9				7.4	2.4			3.9	1.8				
	母	46.9	46.9	48.5			38.9	25.6	38.5★			42.6	30.8				
		60.6	54.2	44.3			34.4	32.4	21.2			31.6	26.3				
友人との交際	友達	16.1	20.3	10.6★★			20.8★	26.9	34.6★★			31.9★	23.1★★				
		6.1	23.7	32.8			42.2	39.7	61.2			51.3	61.4				
	先生	12.5	10.9	33.3			29.2	41.0★	19.2			17.0	34.6★★				
		15.2	5.1	18.0			23.4	20.6	15.3			13.2	10.5				
学校の生活	父	17.9	15.6	12.1			8.3	6.4	3.7			5.9	1.6				
		11.8	3.3	1.6			3.0	1.5	2.4			3.8					
	母	23.2★★	37.5	40.9★			25.0★	30.8	18.5			11.8★★	3.8★★				
		47.1	50.8	59.7			45.5	46.3	32.5			43.6	45.2				
友人との交際	友達	28.6	28.1	22.7			45.8	50.0	59.3			66.7	69.2★★				
		27.9	39.3	27.4			34.8	44.8	59.0			48.7	37.1				
	先生	30.4★	18.8★	24.2			20.8	12.8	18.5			15.7	26.9				
		13.2	6.6	11.3			16.7	7.5	6.0			3.8	16.1				

(1) 表中★、★★は男女の間にそれぞれ5%、1%水準で有意な差の認められたものである。

表3の2 各事柄と相談者(各事柄についての学年別、性別の検定)

		自分の将来	生活の暮し方	勉強の仕方	友人との交際	家庭のこと	学校の生活
中 学	1	男女 父 母	母	先生 先生	母	(母) 母	母
	2	男女 父 母	(母) 母	先生 先生	(母) 母	(母) 母	母
	3	男女 (父) 母	母	先生 先生	友達 母	母 (母)	母
高 校	I	男女 父		先生 先生	(友達) 母	(友達)	(友達) (母)
	II	男女 父 (母)		先生 先生	(友達) 母		友達 (母) (友達)
	III	男女 (母)	(友達)	友達 先生 友達 先生	友達 (母)(友達)	友達	友達 友達
大 学	1	男女 (父) (母)		友達 先生 (友達)(先生)	(友達)先生 (母)(友達)	友達	友達 (母) 友達
	2	男女 (父) 母		先生 (友達) 先生	友達 (母)(友達)	友達	友達 (母)

表3の3 自 分 の 将 来

		父			母								
		中 学	高 校		大 学		中 学	高 校		大 学			
		2 3	I	II	III	1	2	2 3	I	II	III	1	2
中 学	1	男女	★		★★	★		○					★★
	2	男女							★★	★	★★	★★	★★
	3	男女							★★	★	★★	★★	★★
高 校	I	男女										★	★★
	II	男女											★
	III	男女										★	★★
大 学	1	男女											

表3の3 生 活 の 暮 し 方

		父			母								
		中 学	高 校		大 学		中 学	高 校		大 学			
		2 3	I	II	III	1	2	2 3	I	II	III	1	2
中 学	1	男女		★	★★	★	★★	★★				★★	★★
	2	男女			★		★★		★	★	★★	★★	★★
	3	男女				★	★★				★	★★	★★
高 校	I	男女				★	★★						
	II	男女					○						
	III	男女											
大 学	1	男女											

表3の3 勉 強 の 仕 方

		父						母							
		中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学	
		2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	1	2
中 学	1	男女		★	★	★						★	★	★	
	2	男女			★	★	★								
	3	男女			★	★									
高 校	I	男女													
	II	男女				○									
	III	男女				○									
大 学	1	男女													

表3の3 友 人 と の 交 際

		父						母							
		中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学	
		2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	1	2
中 学	1	男女	★★	★★	★	★★	★★	★						★★	
	2	男女	★			★	★				★	★		★★	★
	3	男女												★★	
高 校	I	男女									★	★		★★	★
	II	男女												★	
	III	男女												★	
大 学	1	男女													

(学年別、性別の%の差の検定)

友 達			巻 生										
中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学	
2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	1	2
	○	○	○	○	○	○						★★	★
	○	○	○	○	○	○					★	★★	★
			○										
				○									★
				○									★

(学年別、性別の%の差の検定)

友 達			先 生										
中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学	
2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	1	2
○	○	○	○	○	○	○			★			○	
○	○	○	○	○	○	○						○	○
												○	
												○	
												○	
												○	
												○	
													★★

表3の3 家庭のこと

		父						母								
		中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学		
		2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	1	2	
中 学	1	男女	★		★★	★	★	★			★★	★	★★	★★	★★	★★
	2	男女			★★			★		★	★	★	★★	★★	★★	★★
	3	男女									★		★★		★	
高 校	I	男女														
	II	男女														
	III	男女														
大 学	1	男女														

表3の3 学校の生活

		父						母							
		中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学	
		2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	1	2
中 学	1	男女	★		★	★	★	★	○					★	
	2	男女			★		★	○		★	★	★★	★★	★★	★★
	3	男女					★			★	★	★★	★★	★★	★★
高 校	I	男女												★★	
	II	男女	○											★	★★
	III	男女													
大 学	1	男女													

(学年別、性別の%の差の検定)

友 達						先 生							
中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学	
2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	2	1
○	○○	○○	○○	○ ○○	○○	○○		○	○○				○
		○		○○	○○	○○		○	○ ○○				○○
			○	○○ ○○	○	○○							
				○		○							
				○		○					★		★★

(学年別、性別の%の差の検定)

友 達						先 生							
中 学		高 校			大 学		中 学		高 校			大 学	
2	3	I	II	III	1	2	2	3	I	II	III	1	2
			○	○○ ○○	○○	○○							
			○	○○ ○	○○	○○							
		○	○○	○○ ○○	○○	○○							
				○	○	○○							★
						○							
													◎

C) 「生活の暮し方」、「家庭のこと」、「学校の生活」などの問題に関しては、青年たちは、中学生から、高校生、大学生になるにしたがい、相談相手として父や母を選ぶものは、減少する傾向があり、友達を選ぶものが増加している。

D) 年令的な差異に関しては、中学生から高校生、大学生になるにしたがい、殆んどの場合、父や母は相談相手として選ばれる場合が減少しており、反対に、友達は、相談相手として選ばれる場合が増加している。上述のことと関連して、大学生は、中学生、高校生とは差異を示す場合が多くみられる。(表3の3参照)

E) 男女差に関しては、女子は男子よりも、「自分の将来」、「友人との交際」、「学校の生活」について、相談相手として母を選ぶものが多く、「家庭のこと」について友達を選ぶものが多い。

IV 結果の要約ならびにその考察

青年と両親の関係を明らかにするに際して、従来の研究を概観すると、大ざっぱにいつて二つの研究方向がみられる。その一つは、青年とその両親との関係を、全一化という観点から、あるいは、知覚、態度といった面からとりあげる方向であり、今一つは、青年と両親との関係を、いろいろな対人関係の中の一つと考えて、他との関係において明らかにしようとする場合である。ここで、われわれが取扱つたいき方は、もちろん、後者の立場からなされている。われわれは、青年をとりまく対人関係、対人交渉の相手として、一応、父、母、友達、教師の四者に焦点をあわせ、これらの人達との関係においてよりよく、青年一両親関係を理解しようとしてつとめた。そのため、ここでは、相談者、相談相手としての父、母

友達、教師の意味を明らかにしようとする意図は、

A) 相談者としての父、母、友達、教師は、青年たちにとつて、必ずしも、全一にみられてはいない。かなり異なつた受けとられ方をしている。青年たちは、母と友達には、比較的広範囲の事柄に関して、相談するが父と教師には、相談事項が限定する傾向がある。⁽¹²⁾この点をもう少し説明すれば、父には、進学、就職など将来に関する事柄、教師には、勉強の仕方、方法、進学、就職の問題など、学校生活に関連した事柄において、相談する機会が多い。これに対して、母には、進学の問題から、生活の暮し方、友人との交際の仕方、家庭での諸問題など全般的にわたつて、相談しようとする。とくに、母と娘の関係は、結婚問題などを含めて、顕著な結びつきがあるとみて差しつかえない。友達に対しては効果的な勉強の仕方から、友人との交際学校での生活に関連した項目に関して、相談する傾向がある。さらに、大学生になると、人生観の問題とか異性とのつきあひの仕方などの問題にまで、相談事項が広がってくる。

B) 青年たちは、中学生から高校生、大学生になるにしたがつて、一般的にいつて、相談相手として母より友達を選ぶものが増える傾向がある。(表3の3)とくに、大学生における友達、教師の意味は、中学生、高校生とは異なるようである。

(12) 表4は質問〔5〕の「将来これだけは相談したい」という相談事項を一つだけあげさせた場合の結果である。すなわち、各相談者、相談事項ごとに、学年別、性別の頻数を出し、それを各相談者別に検定した結果、有意な差のみられた場合のみを提示している。この表によつても既述の点を証することができる。

表4 各事柄と相談者

		進学就職の問題	生活の将来問題 生活設計など自	恋愛・結婚	人生観生活態度	社会の慣習風習	家庭のなやみ	政治上の問題	友人との交際	学校生活
中学	1	男女 父							友達 (友達)	友達 (先生) 友達
	2	男女 父 (母) (先生)							友達	(友達) 友達
	3	男女 父 母 先生	(母)						(友達) 友達	友達 (先生)
高校	I	男女 父 (母) 先生	(母) (母)						(友達)	友達 (先生) 友達 (先生)
	II	男女 父 先生	(母)						(友達)	友達
	III	男女 父 (先生) 先生	(母)	母					友達	
大学	1	男女 父 先生 (先生)	母	(母) 母 (友達)	友達 先生					
	2	男女 父 (先生)	父 (母)	(母) 母	(友達) 先生				(友達)	

以上が結果の要約であるが、これらの結果によれば、相談相手としての父、母、友達、教師に関して、中学生高校生、大学生ともに、すでに一定の見方をしていることがわかる。人によつて、相談する事柄に差異がみられるということは、児童期から青年期にかけて、これらの人達についての知覚、認識が確立しているということを示しているといふことができる。

われわれは青年たちのこれらの人達に対する見方の一端を、大胆に予想してみよう。

父—進学、就職など将来の方針をきめる際の相談者。相談しにくい存在ではあるが、人間生活のポイントを左右する問題についての助言をうける人—

母—相談しやすくもあり、人間生活一般についての在り方に関して、将来の問題から始まり、家庭生活、学校生活、社会生活等、全般にわたる相談者。とくに、女子においては、結婚についての相談も含まれるようになり、人生のよい道案内者といふことができる—

友達—試験のこと、効果的な勉強の仕方、クラブ活動をうまくするには、といった学校生活一般、さらに、友人との交際、異性との交際の仕方といった友人関係一般についての相談者。さらに、大学生ともなれば、人生観、生活態度、結婚等といった面まで拡大される傾向がある—

教師—進学、就職を含めた学校生活一般、したがつて、効果的な勉強法とか、学校生活での苦情についての相談者。ただし、大学生ともなれば、相談範囲が多少広がる傾向がある。思うに、教師は、知識を伝達するものとして、教科的、知識的存在者としてみられているのであろう—